

部門紹介

今回はリハビリテーション科をご紹介します。

当院リハビリテーション科には現在3名の職員が在籍しており、入院・外来患者様のリハビリテーションを行っています。

外来は当院での診療でリハビリの指示を受けた方や骨折などにより他の病院で手術を受けた方が退院後の筋肉や関節の動きの回復のために紹介を受けて通う方のリハビリを行っています。リハビリには下でご紹介している様な器具や理学療法士の手技を用いて行います。

入院は入院中に関節が固まらないように手足を動かすリハビリや退院後のご自宅等での生活を想定して歩行訓練などを行います。

いずれもお一人お一人のリハビリ計画に基づいてリハビリが行われています。

春
夏
秋
冬

外来リハビリ機器のご紹介

リハビリテーション室には様々な機器があります。頸椎や腰椎を牽引する器具、リハビリの最後にリラックスしていただくウォーターベッド、低周波治療器、患部を温めるホットパック、歩行訓練を行う平行棒など皆様の症状によって機器を組み合わせます。



<編集>

道立羽幌病院
サービス向上委員会
院外部門
第67号



入院中のリハビリの様子



入院中は患者様の状態にあわせてベッド上での関節の曲げ伸ばし訓練や、車いすなどからの立ち上がり訓練、歩行訓練を行います。写真は関節が固まるのを予防する曲げ伸ばしリハビリの様子です。

北海道羽幌高等学校2年生職場体験学習

9月14日～15日の2日間、羽幌高等学校2年生4名が職場体験学習を行いました。将来、看護師や理学療法士などの医療職を希望している4名はユニフォームに着替え病院紹介を受けた後、「ナースへの道」「理学療法士になろう！」のテーマでそれぞれの仕事に就くための進路や仕事の内容について座学や実習で学びました。

手洗い研修では「自分ではきれいに洗えていると思っていたのに意外と汚れが残っていてびっくりした。これからはきちんと洗いたい。」の感想がありました。

2日間の実習を終え、「実際に病院の中を見ることが出来て良かった」や、「色々なハビリ器具を使うことが出来てもっと理学療法士の仕事に興味を持った」などの感想がありました。

夢の実現に向けて頑張ってください！応援しています。



新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症について、感染者の中には「どこで感染したのかわからない」など感染ルート不明も多くみられます。その状況下でも、経済活動の制限は緩和され、各自治体の判断のもと、続々とイベントが再開され、人々の活動範囲が拡大されています。あらためて、大切なことは「自己管理」です。

◎予防で大切なこと…

○マスク着用 ○3密を避ける（密集・密接・密閉） ○手洗い

◎当院の受診方法は…

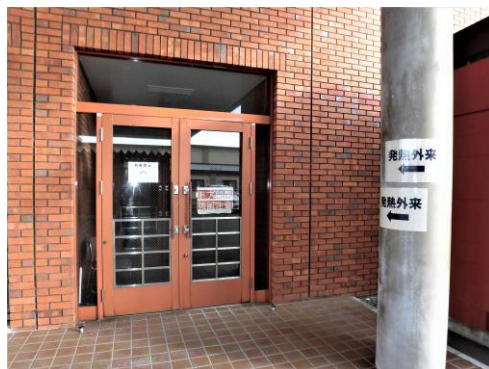
“発熱”“かぜ症状”のある方は「電話で連絡」をして発熱外来の受診となります。 予約制です。連絡先：0164-62-6060

注）当院では無症状の場合、検査は行っていません。

◎受診場所は…

病院の右側「救急入口」を過ぎると発熱外来の案内表示があります。

注）車から降りないでお待ちください。



レスパイト入院のご案内

自宅で介護している方の休養や通院・旅行などで介護ができない時に、被介護者が入院することができます。

当院通院中の患者さんが対象になりますが、近隣町村でも病院間での連携により可能な場合があります。ご相談ください。

連絡先：0164-62-6060 地域連携室

当院スタッフ一同…

「接遇セルフチェック」を

行いました。

セルフチェックの結果をもとに、職員一人ひとりが接遇への意識を高めることにより、病院内の接遇の改善・向上を図り、よりよい医療サービスの提供につなげてまいります。

患者－医療者パートナーシップ宣言

～当院では患者－医療者パートナーシップ宣言の強化に努めます～

- ☆ 医療の主役は患者様です。
- ☆ 私たち医療者は患者様の病気の診断・検査・治療計画について十分な説明をします。
- ☆ その上で納得して医療を受けられるように支援いたします。

